

別表 1

評価項目及び評価基準

(1) 評価基準

○評価項目については下表の評価項目ごとに 5 段階評価とし、採点表に記入する。

○評価点は、次のとおりとする。

「優れている」＝5 点 「やや優れている」＝4 点 「普通」＝3 点

「やや劣っている」＝2 点 「劣っている」1 点 「未記入」＝0 点

○評価点 1 点「劣っている」以下の評価をされた参加者は選定の対象としない。

	評価項目	評価内容	評価点	概算値	配点 上限
基本事項 (参加者評価)	実施体制	・事業の目的を達成するために、十分な人員体制を有し、委託契約期間中、事業を継続的に実施できる体制となっているか。 ・企画提案を実施するために必要な機械設備等を持ち合わせているか。 ・企画提案を効果的かつ効率的に実施できるスタッフが配置されているか。	5	×2.0	10
	実施能力	・本事業を効果的かつ効率的に実施する能力を有しており、知識・ノウハウ等を当事業に十分生かすことが期待できるか。	5	×2.0	10
	経営基盤	・提案者の経営基盤が安定しているか。 ・直近の収支決算書等において安定した経営を行っており、委託業務を委託期間中、適正に運営していける財務状況であるか。	5	×2.0	10
企画提案事項 (提案内容評価)	事業実施計画	・事業の実施計画について、業務の内容や目的を理解し、地域の森林資源状況や、地域の課題等に対応した森林整備計画となっているか。	5	×4.0	20
	技術提案	・事業の技術提案について、業務の内容や目的を理解し、地域の森林資源状況や、地域の課題等に対応した技術提案となっているか。	5	×8.0	40
	事業管理 ・自己評価	・事業実施及び実施後の施工管理体制が整っているか。 ・実施内容について自ら分析、評価を行い、次年度以降の業務改善に向けた取組となっているか。	5	×4.0	20
価格事項	見積内容	・企画提案内容に見合った適切な積算となっているか。	5	×2.0	10
	効率性・経済性	・効率的な実施による経済性に優れた価格となっているか。	5	×6.0	30
ヒアリング事項	取組姿勢	・業務の目的、内容を十分に理解し、技術提案内容を的確に説明するなど、取組意欲が高いか。 ・委託業務や、審査基準、質疑応答で公開している情報に基づき、委託業務の内容を正しく理解しているか。 ・審査者からの質問に対し、技術的知識や豊富な経験に基づいた回答をしているか。	5	×2.0	10
合 計					160

(2) 特定（順位の決定方法）

- ① 委員会は評価項目ごとの評価点に換算値を乗じて採点を行い、合計点数の高い順に順位をつける。
- ② 上記①の順位で 1 位票の最も多い参加者を選定する。1 位票が同数の場合はその中から 2 位票の多い参加者を、さらに 2 位票が同数の場合はその中から 3 位票の多い参加者を選定する。
- ③ 上記②が同数の場合は、その中から審議のうえ委員会委員長が選定する。
ただし、評価において評価点が 1 点以下の項目が 1 項目以上ある参加者は選定の対象としない。
- ④ 参加者が 1 事業体の場合は上記合計最高点数 160 点のうち 96 点以上でなければ特定者と認めない。